

ほほえみ

(4月保護者会号)

昭島市立富士見丘小学校
さくら中学年
令和7年4月11日

本日の予定

1. 担任から
 - ・自己紹介
 - ・子供たちと過ごして
2. 中学年の目標について
3. 教科指導について(中学年の学習内容)
4. 連絡事項
5. 1学期の主な行事
6. 保護者の方から

1.担任から

今年度も、昨年度に引き続き中学年ブロックとして〇〇、〇〇が担任となります。

2.教科指導について(中学年の学習内容)

教科指導については、教科ごとに当該学年の学習内容を進めていきますが、子供たちの実態に配慮し、個に応じた指導、支援を行います。「自立活動」については、様々な活動を通して身に着けたことを日常に般化できるような指導を行っていきます。その中で、子供たち一人一人の「できた」につながるようにしていきます。

また、該当学年の学習内容については、別添の資料を併せて御確認ください。

3. 中学年の目標について

【さくら学級の目標】

- さいごまでやりぬく子
- よりよく協力する子
- にこやかにほたるく子

【中学年の目標】

「たのしく・かかわりあい」…一人一人が学校生活や活動のなかで楽しい気持ちを忘れないように、また、様々な人(教職員、児童…)との関わり合いを大切にできるように指導をしていきます。

4. 連絡事項

○「連絡ワーク(ほほえみ)」には、翌週の予定を記載しています。配布されたら必ず御確認をお願いします。

○**習字道具、リコーダーの購入をします。**習字道具は廊下に見本を展示していますので御覧ください。習字道具の購入は専用の封筒に代金を入れて、4月18日(金)までに担任まで御提出ください。(お釣りや記入漏れのないようお願いいたします。)

※それぞれの楽器には、お手入れ用の小さなガーゼやハンカチなどを入れてください。

○本日、「教材費等の納入のお知らせ」を配付します。口座引き落とし日を必ず御確認ください。

○お子さんのことについて担任と共有したいことや伝えておきたいこと、その他日常生活での疑問や質問などは、連絡帳にお書きいただくかお電話いただければと思います。

5. 1学期の主な行事

4月16日(水) 1年生を迎える会

4月25日(金) 離任式



5月 1日(水) さくら交流給食

5月 2日(木) 遠足 青梅丘陵散策 お弁当(予備日:5月19日(月))

5月12日(月)~5月23日(金) さくら面談

5月19日(月) お弁当の日

6月 3日(火) さくら交流給食

6月12日(木) 居住地交流

6月16日(月)~7月17日(木) 水泳指導期間

6月18日(水) セーフティ教室 学校公開日

6月27日(金) 保護者会

7月18日(金) 終業式

※行事予定は、変更になることがあります。学校ホームページにて、最新の情報をご確認ください。

6. 保護者の方から

別添① 3年生の学習内容

教科等	主な学習内容
国語	<p>【話す・聞く】 ☆相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えながら、話したり聞いたりする。</p> <p>【書く】 ☆自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、文章を書く。・新出漢字（200文字）</p> <p>【読む】 ☆時間的な順序や事柄などを考えたり、場面の様子や登場人物の行動などを想像したりし、内容の体を捉えながら読む。</p>
社会	<p>☆地域における社会的事象を自分の目でよく見て考える。</p> <p>☆調査活動、具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめ表現する。 ・わたしたちのまち・はたらくとわたしたちのくらし・市のうつりかわり</p>
算数	<p>☆問題解決の過程や結果を図や式で表す。</p> <p>☆単位の仕組みについて理解し活用する。</p> <p>☆身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表し読む。 ・かけ算の筆算・わり算・あまりのあるわり算・大きい数のわり算 ・□を使った式・長さ・重さ・円と球・小数・三角形と角 ・分数・大きな数のしくみ・ぼうグラフと表</p>
理科	<p>☆これまでの生活経験を生かして、予想したり考察したりして、観察、実験を行う。</p> <p>☆自然の事物・現象の差異点や共通点を基に、比較し主体的に問題を解決する。 ・自然のかんさつ・こん虫・風やゴムで動かそう・地面のようすと太陽 ・太陽の光・音のふしぎ・じしゃくにつけよう・電気の通り道</p>
体育	<p>☆児童自らが心身の健康や体力の向上を目指して運動に親しむ。</p> <p>☆自己の能力に適した課題をもち、動きを身に付ける。 ・体づくり運動・器械運動（マット運動、鉄棒運動、跳び箱運動） ・走、跳の運動・水泳運動・ゲーム（ボールを使ったゲーム）</p>
音楽	<p>☆歌詞に込められた思いや情景を想像して歌詞を暗記して歌う。</p> <p>☆発音や発声の技能を磨き表現の幅を広げる。</p> <p>☆継続して鍵盤ハーモニカの技能を伸ばすことと、リコーダーの繊細な演奏を身に付けさせる。</p>
図工	<p>☆感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見つける。</p> <p>☆材料や用具の特徴を生かして自分の表したいことを表現したり鑑賞したりする。</p> <p>☆用具の使い方を理解し、画材や材料の特性を生かして表現する。</p>
総合	<p>☆様々な学習・経験と結び付けながら、課題解決に必要な技術を身に付ける。</p> <p>☆探究のプロセス（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現）を通して、実際に考え、判断したり表現したりする力を身に付ける。</p> <p>☆自分で課題を立て、前向きに課題と向き合う。『いのち×地域』</p>
外国語	<p>☆外国語に関心をもって、他者の思いを理解しようとする。</p> <p>☆基本的な英語表現や単語を用いて、世界の人々とコミュニケーションを図る。</p>

別添② 4年生の学習内容

教科等	学習について
国語	<ul style="list-style-type: none"> ◇話を終わりまで、要点を捉えながら集中して聞く力 ◇伝える相手を意識して、話したり聞いたり、文章を書いたり読んだりする力 ◇自分と他者の考えの違いや良さに気付く力 ◇文章から読み取ったことを、音読などを通して表現する力 <p style="text-align: center;">新出漢字:202字</p>
社会	<ul style="list-style-type: none"> ◇適切に資料を読み取り、そこから学習課題に対する考えを広げていく力。 ◇学習課題に対する問いをもち、調べ・まとめ・振り返り、学びを深めていく力。 ・東京都の特色や産業・人々の生活を支える仕事・先人の働き
算数	<ul style="list-style-type: none"> ◇分数や少数、がい数、の概念を理解して正確に計算する力。 ◇垂直、平行、面積の求め方、直方体や立方体について理解し、正しく作図する力。 ◇算数の問題について、見通しをもって、筋道を立てて自分の考えをもつ力。 ◇数量や図形の学習に粘り強く取り組み、主体的に生活や学習に生かそうとする力。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ◇理科に対する自己肯定感を醸成する。(曖昧な自信「やってみようかな」の定着) ◇問題解決に資する科学的な見方や考え方を、学校として系統的に確実に育むこと。 ◇自然科学に関する体験や情報、調べ学習を充実させ、その有用性を意識させ態度化を図る。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ◇発声や発音の技能を養い表現の幅を広げる。 ◇二部合唱のハーモニーの感覚をつかませる。 ◇いくつかの楽器で、「はずむ」「なめらか」「強弱」の表現ができるようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ◇造形的なよさや面白さについて考え、自分の見方や感じ方を広げて考える。 ◇自分のイメージに合った色や形、材料や用具を選び、工夫して表す。 ◇自分のイメージと向き合い、どんどん良くしていこうと意欲的に取り組む。 <p>※材料の用意が必要な場合は、事前に学校だよりや連絡帳などでお知らせします。 ご協力をお願いいたします。</p>
体育	<ul style="list-style-type: none"> ◇体づくり運動を中心に、用具や自身の体を操作する運動技能を高め、基本的な動き(移動やバランス、力試し)を組み合わせる運動のレパートリーを増やす。 ◇自己やグループの運動の実態を把握して課題を理解し、その解決に向けて体の動かし方やゲームの作戦・ルールなどを工夫する。
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ◇外国の言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ◇身近な事柄について、話したり聞いたりして伝え合うための素地をつくる。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分自身に関すること、他の人とかかわりに関すること、自然や崇高なものとかかわりに関すること、集団や社会に関することに関して、考えを巡らすことを通して、自分の生活を見つめ直し、よりよく生きていこうとする心情や意欲、態度を育てる。
総合	<p>「日本の伝統のよさを伝えよう～受け継がれてきた想いを未来へつなぐ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自ら問いを見付け、課題を設定する。 ◇主体的・協働的に学び、納得解を獲得する。 ◇学んだことをまとめ、他者へ発表する。